



広報

2025

まつざき

6

No.733



石部棚田畦塗り (4月26日、27日)

4月26日、27日、石部棚田で畦塗り作業が行われました。作業には、オーナー会員や常葉大学、石部棚田保存会など約200人が参加しました。

町政懇談会

5月12日から17日にかけて、町内4会場で町政懇談会を開催し、多くの皆さまのご参加をいただきました。

その概要として、いただいたご意見などの一部をご紹介します。

5月12日 旧中川小学校
(参加者31人)

○松崎新港の防波堤でまた釣りができるようになることは大変素晴らしい、町民も喜んでいたことだが、料金が高く、予約方法、決済方法も難しく、町民のことが考えられていないと感じる。観光収入のために町民を置き去りにしないようにしてほしい。

(企画観光課長) 今回の海釣りGOは、観光資源の利活用を目的にトライアルとし、実施する。今後の利用方法については、トライア

ル後に検討していく。

○鮎川の基盤整備事業における非農地部分の活用について、防災公園などの話は聞くが、具体的な計画はまだ出ていない。時間がない中でどう計画を立てていくのか伺いたい。

(町長) 非農地部分については町が買い取り、防災公園としてヘリポートを造る予定でいる。また、有事の際だけでなく普段使用のできる防災公園として、いろいろな形で意見を聞きながら、スケジュール感を持つて検討したい。

○松崎町の人口は年間で100人程度減っている。松崎町の維持のためには子どもが大切である。若い世代が安心して子どもを産み育てることができる、よそに

出て行かない、出て行った人も戻って来て生活できる環境づくりが必要だと思う。

(町長) 子どもを増やすことは非常に難しい問題である。仕事はないわけではなく、いろいろな業種で人手不足であるが、選べる仕事がない。例えば、介護と農業というように新しい働き方が求められている。地域で暮らす、子どもを育てるという活動を地域でつくっていくことが必要だと思う。

(教育長) 中高連携教育を17年行っているが、合言葉である「西豆の子は西豆で育てる」に加え、現在は「西豆に貢献する」ということを意識している。西豆での就職や一度外に出た方が戻ってきてくれるという視点を持って取り組んでいる。

5月13日 旧岩科小学校
(参加者22人)

○お金がないと何もできない。ふるさと納税はまだ成

長産業のように思うが、ただ募集をしていますというだけでは伸びない。町としてふるさと納税を柱とする施策が必要だと思うがいかがか。

(町長) 隣町や賀茂郡内でも比べられることが多いが、松崎町は加工場がないのが弱いところ。ただ、まだまだ埋もれているメニユーがあると思うので、皆さんからもご意見いただきたい。また、伸びている自治体には専門のコンサルが入っているため、業者など調査しているところである。

(企画観光課長) 地方創生人材支援制度により民間から来ている方を中心に、ふるさと納税を伸ばしていくための施策を検討している。

○耕作放棄地が増えているが、こちらにいない人や全く草を刈ってくれない人の対処はどのようにしているのか。

(産業建設課長) 農地は、所有者の責任で適切に管理なければいけないと法でうたわれているが、そうはいつていないのが実情である。農業委員会では、周辺の耕作されている方に支援がある場合は、言ってもらえれば、所有者に適切な管理をするよう話をしていく。また、農業委員会ですら年意向調査をしており、多くの方が貸してもよいと答えるが、借り手がいなくて結果放棄のままとなることが多く難しい。農地法上の管理責任があるということをご理解いただきたい。



▲ 5月13日 旧岩科小学校

5月15日 石部公民館
(参加者23人)

○石部地区で、同報無線が聞こえにくい件についてはどうなっているか。

(総務課長) 石部地区の同報無線については、ご迷惑をおかけしており、大変申し訳ございません。石部地区には3本の電波を受信するパンザマストがあり、一番上のパンザマストで受ける電波が弱く、受信できないこともあるため、下のパンザマストに電波が発信できない状況がある。5月29日にアンテナの取替え工事を行い、受信状況を確認するのでご確認いただきたい。

○雲見の4階建ての建物の壁が道路側に落ちて危険な状態だが、町は個人の建物なので必要最低限しかできないと、板を付けただけである。先日も人に当たったから死んでしまうようなものが落ちてきていた。町は所

有者に話していると言うが、法律関係で進めることはできないのか。

(産業建設課長) 所有者がいる限り所有者の責任がある。静岡県下土木事務所が建築基準法に基づく指導をしている。最終的には裁判ということかもしれないが、次のステップに進むかどうかは、県の判断になる。

○雲見の防潮堤の件についてはどうなっているか。継続事業であるのか、継続事業でないのかをお答えいただきたい。

(町長) 継続事業である。

○1市3町の広域ごみ処理施設の進捗状況を教えてください。

(生活環境課長) 昨年の12月に物価高騰の関係で、下田市から再検討したいと話があり、4月にある程度まとまり、5月に首長が集まる運営会議でこのまま進めようという予定だったが、今度は南伊豆町から検討し

たいという申し出があった。5月末までに南伊豆町の結論が出るので、その回答を待つて進め方を検討していく。

5月17日 環境改善センター
(参加者24人)

○町は下田メディカルセンターに補助金を出しているが、多くの方は西伊豆健育会病院に行っている。西伊豆健育会病院は民間なので採算が合わなければ撤退してしまうが、補助は考えているか。

(町長) 人口が減ることにより、病院に行く人も減っていく。救急車を100%受け入れている病院は、賀茂地域では西伊豆健育会病院だけであり、貴重な病院である。経営者の方含め、関係者の皆さんと撤退しないようお願いをしていく。

○町からの回覧板が月に4回から5回あり、区長、班長、区民の負担になっている。情報はホームページで閲覧できるものも多いので、

月2回から3回に減らしてもらえないか。賀茂郡内の他の町では月2回である。

(総務課長) 細かな情報を提供するため、現在の数になっている。今後、区長会などでも相談しながら、よりよい形を検討したい。

(企画観光課長) 現在町では、公式LINEから広報などの情報発信を始めています。今後、改良しながら発信していく。

○松崎町は県内で一番人口の少ない町だが、宿泊施設伊豆まつぎ荘、長八美術館、重文岩科学校、道の駅花の三聖苑と住民として誇れる施設がある。更に大切な文化財である旧依田邸は、町の一番大きな財産であると思う。この旧依田邸の今後の方向性を教えてください。

(町長) さまざまな施設の維持管理がある中で、旧依田邸をどうしていくかは非常に悩ましいところである。修繕をどうするか、管



▲ 5月17日 環境改善センター

この他にも、たくさんのご意見・ご要望をいただきました。お寄せいただきました町政に反映させられるよう努めてまいりますので、引き続き皆さまのご理解とご協力をお願いします。

【問合せ】

企画観光課(42)3964

「知り合う」、「深める」を経て「広める」へ

1 はじめに

松崎町には周知の通り、保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校があります。このように教育施設が整っている町は、人口規模が同程度の他の町と比較してもあまり見られない好環境です。言い換えれば、このような環境が整っていることは松崎町の大きな強みと言えます。

1点目は、今年度からの取り組みの目玉として「学校公開」を行い、日頃の実践を見せ合う機会を設けます。今年度は、松崎小学校が6月19日（木）に学校公開を行います。先生たちが異校種の取り組みの違いを実際に目で見たり、町で共通して育てたい子どもの姿を感じたりするきっかけにしたいと考えます。

2点目は、先生たちの学びを子どもたちの学びに広めていくことです。共通体験活動には、子どもたちに知ってもらいたい町の良さが溢れています。活動中、参加している先生たちと「子どもたちに知らせたい内容は何か」「授業にどう組み込んでいくのか」などを考え合ったり、活動後のアンケートで意見を集めたりしながら、子どもの学びに

広めるアイデアを先生たちから引き出します。

3点目は、「先生大集合」の活動の様子を地域に広報していくことです。広報することにより、地域の協力者が増えたり、私たちが松崎の良さをさらに知る機会に恵まれたりする可能性が高まると考えます。今年度から作成している『なるほど！松崎の学校』に情報を掲載し、町の閲覧板やお店の掲示板、「今日のまっざき」（フェイスブック）といった複数の発信方法で地域に広めていきます。

2 今年度の取り組み

これまでの成果を引き継ぎ、3年目「広める」では、次の取り組みを推進します。

これまでの成果を引き継ぎ、3年目「広める」では、次の取り組みを推進します。

3 これまでの成果

これまでの2年間、春夏・秋と年3回の活動をし

てきました。

春には、第1回「先生大集合」を開催しました。多くの参加者が、アイスブレイクを通して知り合うことができました。その後、夏の活動を紹介してもらい、先生たちが希望する4つの活動グループを作りました。

夏には、グループごとに体験活動を行いました。活動後のアンケートからは、「松崎の良さを知り、充実した体験となった」「松崎町に住んでいながら初めて知ることが多かった」など、町内外の出身を問わず多くの参加者から肯定的評価を得ることができました。



▲令和6年7月22日夏の共通体験活動 宝蔵院「苔の瞑想の場」整備の様子

秋には、第2回「先生大集合」を開催しました。夏の体験を紹介し合うことで、他の活動内容を知り、さらに松崎の良さを実感し合いました。その後は会場を移し、「みんなでごはん」を開催しました。飲食しながらの和やかな会となり、会場のあちこちから「顔見知りになり、会話がしやすくなった」「町で会ったときに挨拶しやすい」「伊豆松崎分校の先生と子どもの話題が気軽にできるようになった」など多くの声が聞かれました。

4 おわりに

引き続き、松崎町ならではの教育の源流である「松崎町幼小中教職員のクレド」と「21世紀松崎町3つの実践運動」という土台も忘れず、日々の教育活動を行っていきます。

【問合せ】

教育委員会（42） 3971

松崎高校広報～西豆と共に～

入学式



4月7日に令和7年度入学生を迎えて入学式を行いました。矢野あおい校長から41人の入学が許可され、高校生活がスタートしました。新入生を代表して、松崎中学校出身の伊藤恵司さんが「限られた時間の中でより大きく成長していくために、さまざまなことに自主性を持って行動していきます」「切磋琢磨し、共に認め合い共に支え合いながら充実した3年間にしていきたい」と高校入学に際しての決意を述べ、宣誓を行いました。

新入生オリエンテーション（1年生）



4月10日、新入生オリエンテーションを行いました。参加した1年生からは「伊豆松崎分校さんとの共生や相互理解が必要であることがわかった。自他を認め合える人になりたい」「個人としても集団としても動き、仲間と支え合い努力している人になりたい」などの感想が聞かれました。レクリエーションでは”トモダチ100人できるかな？”に取り組み「初対面の人も仲良くできたのでうれしかった」など、交流を深めることができましたようです。

前期生徒総会



4月25日、前期生徒総会を開催しました。生徒会長の鈴木綜真さんは「誠心誠意」を目標に、松高をより良くするため考え行動することで、学校を明るくしていきたいと宣言しました。また、6月の双獅祭では、スローガンの「青春謳歌」の実現に向け、新たに町内の飲食店を誘致し、地域と繋がる文化祭を目指す考えも示しました。併せて、5つに再編された専門委員会の委員長が、今年度の活動計画を発表しました。

令和6年度 大学等合格実績及び就職先（令和7年3月卒業生）

《 四年制大学・短期大学 》

筑波大学、山梨大学、神奈川県立保健福祉大学、名桜大学、明治大学、成蹊大学、獨協大学、日本大学、駒澤大学、専修大学、東洋大学、神奈川大学、常葉大学、常葉大学短期大学部 など

《 専修学校・専門学校 》

静岡医療センター附属静岡看護学校、さいたま看護専門学校、静岡工科自動車大学校、中央歯科衛生士調理製菓専門学校、静岡電子情報カレッジ、日本工学院八王子専門学校 など

《 就職（公務員を含む） 》

自衛隊、三島信用金庫、日本郵便（株）、（株）東配工、（株）キリンビバレッジサービス など

【問合せ】 松崎高校（42）0131

ごみの減量化にご協力ください

○雑がみの収集について

令和5年12月から新たに開始した雑がみの収集は、6年度中に約20ト回収し、トイレットペーパーへ再資源化されました。可燃ごみが減少することで、焼却用薬品や焼却灰の処理などのコスト削減もできました。

皆さまのご協力に、深く感謝申し上げます。引き続きご協力をお願いいたします。

○ごみ減量化の施策

上の表のとおり、松崎町の可燃ごみの多くは『紙・布類』『合成樹脂類』『ちゅう芥類（生ごみ）』です。

『紙・布類』は、これまでの新聞紙、雑誌、段ボール、紙パックに加え、令和5年12月から雑がみを収集しています。広域の資源化施設の建設に合わせ、布類の分別収集を行う予定です。

○ごみ減量化の施策

『紙・布類』は、これまでの新聞紙、雑誌、段ボール、紙パックに加え、令和5年12月から雑がみを収集しています。広域の資源化施設の建設に合わせ、布類の分別収集を行う予定です。

『合成樹脂類』は、ペットマーク製品を収集していますが、広域の資源化施設の建設に合わせ、プラマーク製品の分別収集を行う予定です。

○松崎町の可燃ごみのごみ質について

項目	R2年度 (%)	R3年度 (%)	R4年度 (%)	R5年度 (%)	R6年度 (%)	平均 (%)	
ごみの種類組成分析	紙・布類	42.0	35.2	30.4	35.9	28.5	34.4
	木・竹・ワラ類	16.0	8.7	14.8	15.6	10.2	13.1
	合成樹脂類 (ゴム、プラスチックなど)	14.3	19.5	20.9	23.1	21.8	19.9
	ちゅう芥類 (生ごみ)	19.8	25.8	28.1	14.5	31.1	23.9
	不燃雑芥類 (金属、ガラスなど)	4.9	6.4	3.0	3.8	4.1	4.4
	その他 (判別が困難なものなど)	3.0	4.4	2.8	7.1	4.3	4.3
3成分	水分	52.8	50.7	60.2	57.9	63.8	57.1
	灰分	7.2	7.9	3.5	5.4	4.4	5.7
	可燃分	40.0	41.4	36.3	36.7	31.8	37.2

※クリーンピア松崎では、定期的（年4回）にごみ質の分析を行っています。表の値はその平均値です。

※可燃ごみとして出されたごみをピットからクリーンで搬出して分析しています。

※令和6年度 可燃ごみ排出量 約1,815ト（1人当り320kg）
令和5年度 可燃ごみ排出量 約1,950ト（1人当り332kg）
削減量 可燃ごみ排出量 約135ト（1人当り12kg）

『ちゅう芥類（生ごみ）』は、その成分の多くが水分です。水きり徹底をお願いします。生ごみ処理機やコンポストの補助制度もありますのでご活用ください。

○各家庭へのお願い

ごみ減量化は、家庭でのさまざまなご協力が不可欠です。特に3R活動にご協力いただきますようお願いいたします。

- ・リデュース（発生抑制）
食材は、使い切り、食べ残さないようにしたり、使い捨ての商品は、使用しないようにしましょう。
- ・リユース（再使用）
一升瓶などの再使用できる物品の回収率を高めましょう。

- ・リサイクル（再資源化）
使い終わったものを、きちんと分別し、資源として活用しましょう。

○可燃ごみ収集について

可燃ごみは、必ず町指定の袋を使用し、必ず名前を書いて、収集日当日の午前8時15分までに、お住まいの地区の集積場所へ出してください。

集積場所は、土地などを提供してくださる方や清掃、管理に努めている方など、地区の方々によって管理されています。地区で決められたルールを守って清潔に使うよう心掛けてください。

※他の地区のごみ集積場所には出さないでください。

古紙類などは、汚れていたりリサイクルできないものなど以外は、可燃ごみにしないでください。

収集員がけがをしたり、焼却炉の故障の原因となりますので、可燃ごみの袋に可燃ごみ以外の物は、絶対に入れないでください。



【問合せ】

生活環境課（42）3969
クリーンピア松崎（45）0602

6月は土砂災害防止月間です

6月は、国土交通省が定める「土砂災害防止月間」です。近年、異常気象などによる豪雨が各地で発生し、土砂災害によって大きな被害が発生しています。これから梅雨や台風季節となりますが、いつ起こるか分からない土砂災害から命を守るには、土砂災害の危険性を認識し、気象情報などの情報収集に努め、早めの避難を心掛けましょう。



▲気象庁「キキクル」
二次元コード

警戒レベルをチェック

水害や土砂災害による災害が発生する恐れがある場合、下記「警戒レベル」を用いて、避難のタイミングを防災行政無線や町ホームページなどを通じてお知らせします。避難情報が発令された場合は、安全な場所へ避難しましょう。

キキクル（危険度分布）を活用しよう！

「キキクル（危険度分布）」は雨による災害の危険度を5段階で色分けして地図上にリアルタイム表示するサービスで危険度が一目で分かります。キキクルは気象庁ホームページで公開しています。WEBからアクセスする際は、「キキクル」と検索してください。スマ



警戒レベル	避難情報	状況	取るべき行動
5	緊急安全確保	災害発生または切迫	命の危険 直ちに安全確保
4	避難指示	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難
3	高齢者等避難	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難
2	—	気象状況悪化	自らの避難行動を確認
1	—	今後気象情報悪化のおそれ	災害への心構えを高める

【問合せ】
総務課（42）3963

地域おこし協力隊活動レポート

荒井 玲奈

Vol.33

協力隊員として松崎町に来て、はや3年が経ちました。協力隊として活動できたのは受け入れてくださった町の皆さまの温かさ、先輩方が築いてきた信頼関係があったからこそだと思えます。心から感謝の気持ちでいっぱいです。松崎町で過ごす日々の一つ一つが自分にとっての宝物です。移住先を松崎町に選んだ自分を誇りに思いません。

今後も松崎町内で有害鳥獣駆除と狩猟をしながら、ジビエ利活用の促進と普及、森林保全活動に関わっていかれたらと思っています。昨年活動を再開した牛原太鼓も継続して頑張ります。一緒に活動できる太鼓仲間、出演できるイベントは、随時募集中ですのでお気軽にお問い合わせください。

自分が松崎町で根ざしたものを今後も大切に、大きく育てられるよう、引き続き松崎町民として精いっぱい努めてまいります。3年間ありがとうございました。これからもどうぞよろしくお願いたします。



▲牛原太鼓の演奏披露

【問合せ】
企画観光課（42）3964

切り干し大根の味噌汁

—ここがポイント—

★切り干し大根、高野豆腐、小松菜はカルシウムが豊富な食材です。

エネルギー	たんぱく質	脂質	炭水化物	食塩相当量
49kcal	3.7g	1.6g	6.6g	1.0g

(1食当たり)



— 材料 (4人前) —

- 小松菜・・・60 g
- ニンジン・・・1/5本
- しめじ・・・40 g
- 切り干し大根・・・16 g
(戻し汁・・・100ml)
- 高野豆腐・・・12 g
- だし汁・・・400ml
- みそ・・・大さじ1と1/2
- こねぎ・・・少々

— 作り方 —

- ①切り干し大根と高野豆腐は水で戻しておく。
- ②小松菜は3等幅に切り、ニンジンはいちょう切り、こねぎは小口切りに切る。
- ③しめじは石づきを取り、ほぐしておく。
- ④戻した切り干し大根は3等幅に切り、高野豆腐は角切りに切る。
- ⑤だし汁を入れた鍋に切り干し大根の戻し汁を足し、ニンジンを入れ、中火で煮る。柔らかくなったなら、小松菜、しめじ、切り干し大根、高野豆腐を入れ、3～4分煮る。
- ⑥火を止めてみそを溶かし入れる。
- ⑦器に盛り、こねぎをのせる。



特定健診受けてね

【問合せ】 健康福祉課 (42) 3966

町長コラム 第42回

「日本で最も美しい村」連合について

松崎町長 深澤 準弥

松崎町は、平成25年に、「日本で最も美しい村」連合に加盟しました。「日本で最も美しい村」連合は、素晴らしい地域資源を持つ美しい町や村、地区が、「日本で最も美しい村」を宣言することで自らの地域に誇りを持ち、将来にわたって美しい地域づくりを行い、地域の活性化と自立を住民自らの手で推進することを支援します。中でも、生活の営みにより形成されてきた景観・環境や地域の伝統文化を守り、これらを活用することで観光的付加価値を高め、地域の資源の保護と地域経済の発展に寄与することを目的としています。

松崎町が加盟するに際して掲げた地域資源は、「なまこ壁の建造物」「石部の棚田」「桜葉の塩漬け」の3つです。これらはいずれも地域の先人たちが培ってきたなりわいと密接に結びつき現在まで継承されてきたものです。その地域の宝は、その地に生きている人々の誇りであると思います。今年で連合も20周年を迎え、より一層進化を遂げ、世界に誇れる連合を目指します。松崎町には、他にもたくさん資源に恵まれており、また、松崎町民の人柄や精神文化は素晴らしいものがありますので、連合の中でしっかりとアピールし、世界の美しい村として、国内外のお客さんに訪れていただける地域を目指していきます。

My Town Topics ～まちのできごと～

松崎幼稚園 フジバカマ植栽



4月25日、重文岩科学学校入り口の休耕田で、松崎幼稚園の園児がフジバカマの植栽を行いました。

まつぎき里山ファクトリーの土屋武彦代表と松崎町振興公社が主催し、アサギマダラを呼び込む活動を体験することを目的として行われました。

園児はフジバカマの苗の植え方を熱心に学び、一生懸命に苗を植えました。

松崎町みどりの少年団入団式

4月26日、松崎町みどりの少年団が牛原山で入団式を行いました。

みどりの少年団は、自然に触れ、郷土愛を育むことを目的に活動を行っており、今年は12人が入団しました。

入団式後は、記念植樹としてヤマツバキを植えたり、マックスバリュ松崎店で緑の募金活動を行いました。



田んぼを使った花畑「花摘み」



5月1日から5日にかけて、那賀バイパス沿いの田んぼを使った花畑で「花摘み」が行われました。

会場に訪れた観光客は、花畑に咲いている色とりどりの花を摘んだり、摘んだ花で花かんむりを作ったりしました。

また、会場にはこいのぼりも揚がっており、一緒に写真を撮っている家族もいました。

松崎小学校 防災講座

5月8日、松崎小学校で防災講座がありました。

参加した4年生は静岡県の地震体験車に乗って、震度6強や震度7の揺れを体験しました。

テーブルの下に隠れ、脚にしがみついて地震の揺れに耐えていました。

子どもたちは「思ったより怖かった」「一人の時だと怖いなど思った」など、想像以上の地震の揺れの激しさに驚いていました。



町の人口と世帯

(令和7年4月30日現在)
()内は前月比

総人口	5,586人	(- 3人)
男	2,639人	(+ 4人)
女	2,947人	(- 7人)
世帯数	2,822戸	(+ 4戸)
転入	23人	転出 18人
出生	1人	死亡 9人

戸籍(4月届出分)だより

おめでとうございます(出生)

地区	氏名	性別	保護者
石部	知幸	男	孫 彬

おめでとうございます(婚姻)

夫		妻	
地区	氏名	地区	氏名
江奈2	松尾 亮平	江奈2	三木田光来
櫻田	村田クレイグ	櫻田	浅野 彩佳

お悔み申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出	人
岩地	齋藤千代子	101	齋藤	匡紀
江奈2	和泉 昌裕	68	和泉	裕子
峰	山本 博彦	81	山本	成久
中区	稲葉 彰子	73	稲葉	昭宏
江奈1	青木 宗子	78	青木	成治
西区	近藤 富重	91	近藤	知己
石部	渡邊きよ子	96	渡邊	昌道
江奈2	工藤 道夫	91	工藤	学

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

町の交通事故

令和7年4月発生分

()内は前年同月比

人身事故	0件	(-1)
物損事故	7件	(-2)
死者	0人	(±0)
傷者	0人	(-1)



西尾 湊斗さん
(櫻田区)

ピカピカキッズ
3歳児健診で「虫歯」
がなかったお子さんを
紹介します。

歯の健康

歯の健康は体の健康と密接な関係があります。歯のトラブルで食べ物をかめない状態が続くと、全身の健康に影響します。

また歯周病は、糖尿病、認知症などの病気とも関係があることが分かっています。

お口の健康を保つことは、生涯健康に過ごすための大切なポイントです。家族みんなで歯の健康づくりに取り組みましょう。町でも、皆さんの健康づくりをさまざまな事業でお手伝いさせていただきます。

歯周疾患検診

歯ぐきから血が出る、口臭が気になるなどの症状はありませんか。この機会にお口の中をチェックしましょう。

内容：歯科医師による検診・歯のブラッシング指導など

対象：町内在住の20・30・40・50・60・70歳

(年度末時点)の方
※対象者には通知しています。

期間：令和7年6月1日から令和8年2月28日

【問合せ】

健康福祉課(42) 3966

松崎文芸

— 短歌 —

雨降りの続きで久し針持ちて

釘などつける女子のひとり

石田 安江

気嵐に湾一面がおほはれて

松崎の海は冬に近づく

岡村 芳子

大晦日には必ずカレンダーのゴッホの絵

好みの三枚切り取り取っておく

杉山安紀子

広報まつしき

二〇二五年六月一日発行
通刊 第七三三三三号

〒410-3696 静岡県賀茂郡松崎町宮内三〇一ノ一
☎(五八)四二一三九六 〇(五八)四二一三二八三

発行 静岡松崎町
印刷 有山本印刷

編集 企画観光課